

2025年5月9日  
株式会社 四国銀行

## 「中期経営計画 2023」の数値目標の見直しについて

株式会社四国銀行（頭取 小林達司）は、「中期経営計画2023」（2023年度～2025年度）における数値目標の見直しを行いますので、下記の通りお知らせします。当行は、今後も地域と産業の牽引を通じて、企業価値の向上を目指してまいります。

記

### 1. 内容

中期経営計画において10年ビジョンである「地域と産業を牽引するベスト&リライアブルカンパニー」の実現に向けた取組みを進めております。このうち「コンサルティング機能の発揮に向けた指標」として数値目標を掲げている「サステナブルファイナンス実行額」「預り資産等残高」「証券口座数」の2025年度までの目標を既に達成したため、数値目標の見直しを行います。

＜コンサルティング機能の発揮に向けた指標＞

項目	2024年度末実績 (中計2年目)	2025年度目標 (中計最終年度)
サステナブルファイナンス 実行額 ※1	1,494 億円	期間累計 (見直し前) 1,000 億円以上 ↓ <b>(見直し後) 2,000 億円以上</b>
預り資産等残高 ※2	5,466 億円	(見直し前) 4,400 億円以上 ↓ <b>(見直し後) 5,900 億円以上</b>
証券口座数	43,860 件	(見直し前) 43,000 件以上 ↓ <b>(見直し後) 46,000 件以上</b>
事業所融資先数	13,455 先	13,200 先以上
事業承継・M & A 支援件数	5,492 件	期間累計 7,000 件以上
お客さまの企業価値の向上 ※3	55%	融資取引先の60%以上
非金利収益比率 ※4	16.5%	16.5%以上

※1 投融資方針に基づく融資、＜四銀＞サステナブルファイナンス、BCファンド、その他社会課題の解決や持続可能な地域社会の実現に寄与する投融資の実行額。

※2 株式、円建債券（個人向け国債含む）、外国債券、投資信託、ファンドラップ、生命保険の合計残高。

※3 事業所融資取引先の企業価値を簡易算出し、2023年度3月末基準と比較して企業価値が増加した取引先の割合  
企業価値＝直近期の自己資本＋（直近3期分の営業利益および減価償却費の合計）。

※4 役務取引等利益÷コア業務粗利益（投資信託解約益を除く）。

以上